

がん登録を基盤とするリアルワールドのがん医療への影響調査（CanReCo）

（旧名称 新型コロナウイルス感染症がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響：がん登録を基盤とした調査）

1. 研究の対象

大阪府がん診療連携協議会を構成するがん診療連携拠点病院等において院内がん登録され、院内がん登録症例集計（旧：全国集計）にデータを提出した患者様（2016 年 1 月 1 日診断以降）

2. 研究目的・方法

大阪府の新規がん患者の大部分をカバーするがん診療連携拠点病院等の院内がん登録に基づく調査を大阪府がん診療連携協議会として行い、診療情報データの一種である DPC 情報を加えることで、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）等がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響等、がん登録を基盤とした調査により大阪府のリアルワールドのがん医療の状況を明らかにし、がん対策の科学的根拠とすることを目的としています。

研究実施期間は 2030 年 3 月 31 日までで、大阪国際がんセンターの倫理委員会の審査を経て延長の可能性があります。データ保持期間については倫理審査委員会の指示あるいは当センターにおける研究関連の規定に従います。対象症例期間ですが、研究対象年の前年 10 月～翌々年 5 月までの全がん患者の DPC データの提供を依頼しております。よって 2024 年症例ならば対象症例期間は 2023 年 10 月～2026 年 5 月までの DPC データ、2025 年症例は 2024 年 10 月～2027 年 5 月となります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では情報として院内がん登録情報と DPC 情報を匿名化・暗号化したデータ（氏名・診察券番号を削除して代わりに院内がん登録で個人情報を削除した際に置き換えられた専用番号を付けたもの）を用います。

このデータに含まれる情報は以下のものが挙げられます：

性別、診断名、診断年月、初回治療方針、ステージ、施設名、入退院年月日、診療明細等

4. 外部への試料・情報の提供・公表

院内がん登録の専用番号と参加施設の診察券番号の対応表は、参加施設において院内管理者が鍵のかかる場所で管理します。大阪国際がんセンターより配布された専用ソフトウェアを用いて各医療機関で院内がん登録情報と DPC 情報から対象症例を抽出・匿名化・暗号化したデータを作成します。そのデータを USB メモリーに保存し、追跡サービス付き方法で大阪国際がんセンターがん対策センターに送付します。

5. 研究組織

研究責任者・研究代表者：大阪国際がんセンター がん対策センター所長 宮代 勲

研究事務局：大阪国際がんセンター がん対策センター

事務局責任者・解析責任者：大阪国際がんセンター がん対策センター 疫学統計部長 森島 敏隆

実施医療機関及び責任者（既存試料・情報の提供のみを行うため研究機関とはみなさない）：

大阪府がん診療連携協議会を構成するがん診療連携拠点病院等

6. 問い合わせ先

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合について：

当院窓口：3P 患者支援センター 患者相談窓口

対 応 者：医事グループ 医療支援担当